

北ガスグループ 2020年度 第2四半期決算

2020年10月30日

2020年度 第2四半期決算の概要

売上高は連結・個別とも4期ぶりの減収、
経常利益は連結で2期ぶりの減益、個別で3期ぶりの増益。

北ガスグループ（連結）

売上高

497億87百万円（ 8.7%減）

経常利益

9億54百万円（18.0%減）

（ ）内は、前年同期比

北海道ガス（個別）

売上高

431億48百万円（ 9.1%減）

経常利益

5億96百万円（71.0%増）

（ ）内は、前年同期比

主要計数＜ガス（販売量）＞

新型コロナウイルスの影響により、業務用（商業用、工業用）が減少し、全体で前年同期を下回る。

一方、春先の低気温や外出自粛の影響により家庭用は増加。

ガス販売量

2億5百万m³（前年同期比 ▲6.5%）

（単位：千m³）

分野	2020年度	前年同期	前年同期比	増減率	要因	
家庭用	67,813	60,939	+6,873	+11.3%	春先の低気温や外出自粛の影響により増	
業務用	商業用	61,349	82,014	▲20,665	▲25.2%	新型コロナウイルスの影響による営業自粛により減
	工業用	38,476	41,038	▲2,562	▲6.2%	新型コロナウイルスの影響による工場需要減
	公用	18,486	17,427	+1,059	+6.1%	春先の低気温や新設物件により増
	医療用	15,448	15,039	+408	+2.7%	春先の低気温等により増
	計	133,758	155,519	▲21,761	▲14.0%	
卸供給	3,499	2,934	+565	+19.2%		
合計	205,070	219,393	▲14,323	▲6.5%		

主要計数＜ガス（お客さま件数）＞

戸建、賃貸の着工件数が減少し、新設獲得件数は前年同期を下回るものの、着実な需要獲得によりお客さま件数は純増。

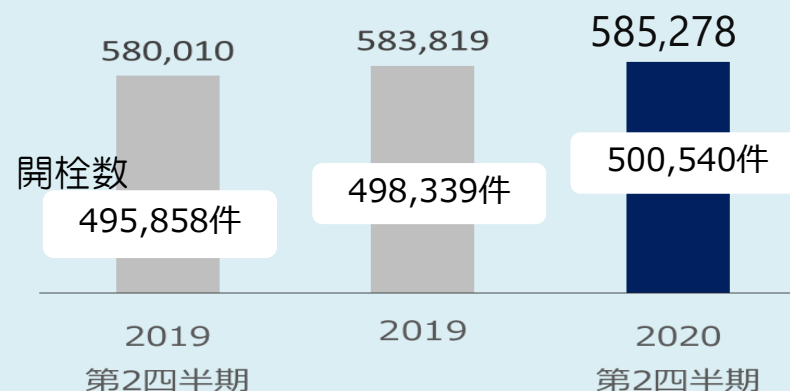
新設・撤去件数

	新 設	撤 去	増 減
家庭用	3,846	2,368	+1,478
業務用	346	365	▲19
合 計	4,192	2,733	+1,459
前年同期比	▲ 1,244	▲ 456	▲ 788



お客さま件数 (メーター取付数)

585,278件（前年度末比+1,459件）

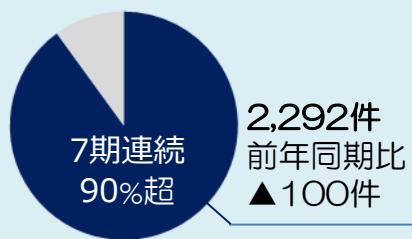


営業概況＜ガス 家庭用＞

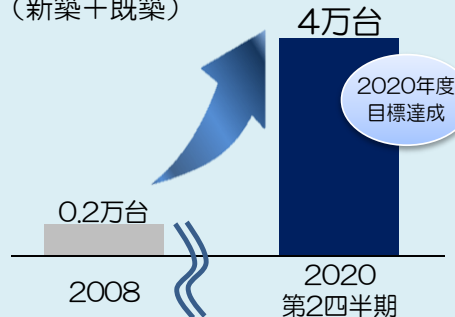
着工件数減の中、新築シェアは各分野とも好調を維持。既築の燃料転換も導管延伸営業により着実に増加。エコジョーズ（戸建）は累計4万件達成。

戸建

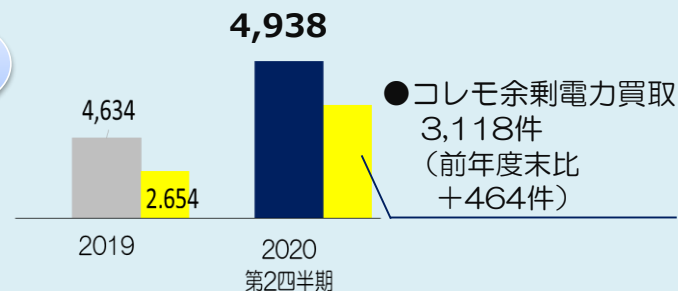
●エコジョーズシェア（新築） ※札幌市内竣工ベース・当社調べ



●エコジョーズ 累計設置台数 （新築＋既築）



●ガスマイホーム発電 累計設置台数 （新築＋既築）「コレモ」＋「エネファーム」



●「EMINEL」 稼働件数479件（前年度末比＋203件）

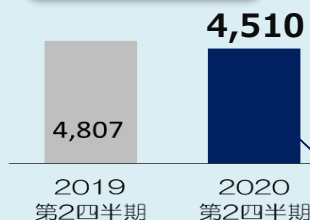
分譲集合

●Factシェア（新築） ※札幌市内竣工ベース・当社調べ



賃貸集合

●「エコジョーズ・ガス給湯器・暖房機」 獲得戸数（新築） 北ガスグループ（北ガス＋北ガスジェネックス） ※札幌市内竣工ベース・当社調べ



前年同期比▲297件
シェアは昨年度同水準の約60%を維持

導管延伸営業

●獲得件数

・5年間 累計76km、1,540件獲得（ガス化率24%）

営業概況＜ガス 業務用＞

都市エネルギー分野（ホテル、病院）、産業用分野（食品、リネンサプライ）等の計画案件を着実に獲得。年間計画達成の見通し。

都市エネルギー分野

- ・ 開発量：11.2百万m³
- ・ ホテルや病院の計画案件を獲得

中小口業務用分野

- ・ 開発量：0.7百万m³
- ・ チェーン店への営業強化
- ・ 都心部繁華街飲食店への巡回営業

産業用分野

- ・ 開発量：3.9百万m³
- ・ 食品、リネンサプライ工場（設備増設）の獲得

LNGサテライト供給

- ・ 今期1件稼働
- ・ 省エネノウハウ等を活かし、全道各地で営業展開

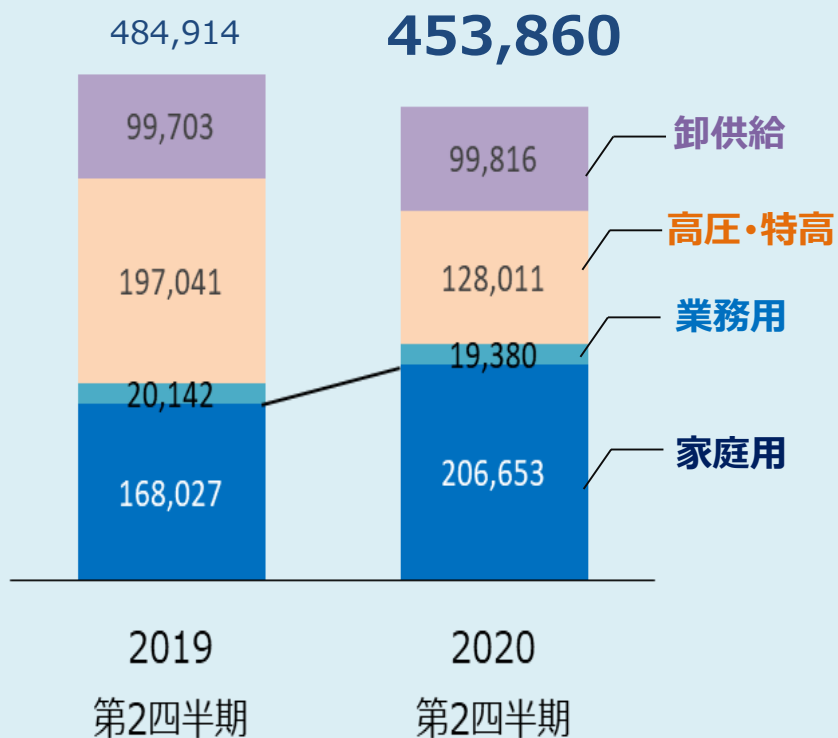
主要計数＜電力＞

高圧需要減により販売量は前年同期を下回る。
低圧需要獲得増によりお客さま件数は増加。

電力販売量

4億5千3百万kWh
(前年同期比 ▲6.4%)

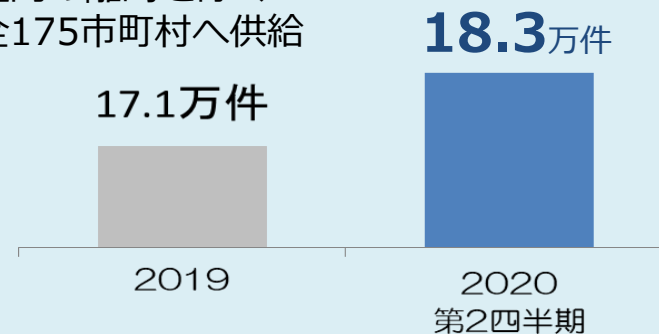
(単位：千kWh)



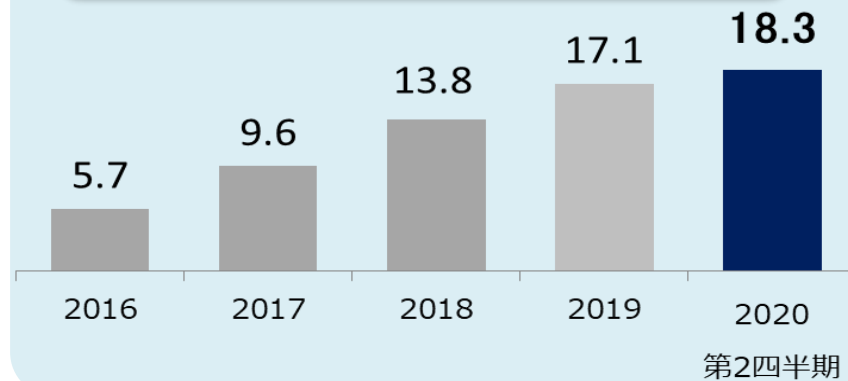
お客さま件数

183,290件
(前年度末比 +11,938件)

道内の離島を除く
全175市町村へ供給



累計お客さま件数の推移



営業概況＜電力＞

北海道経済活性化に向けた成約キャンペーンや、
道内ガス事業者への電気料金割引拡大、省エネサービス等を展開。

営業活動

●道内活性化に向けたキャンペーン



北海道米や、道内
飲食店・企業の商
品券を成約特典と
して道内消費を後
押し

●道内ガス事業者への割引拡大



＊4月より「釧路ガスの電気」に適用。
10月より他のガス事業者へ拡大

●その他キャンペーン



エネルギーサービス

●エネルギー見える化サービス



＊TagTag会員数：約74,000件

●北ガスポイントの利用先拡大



＊東川町「HUC」ポイントと連携

●太陽光余剰電力の買取



2020年度 第2四半期決算

ガス販売量、工事・器具販売減等により、連結、個別とも売上高減。
一方、原材料費の減少に加え、経費削減等につとめ、個別の経常利益は増加。

		(百万円)				主な理由
		当期	前年同期	増減	増減率	
売上高	連結	49,787	54,526	▲4,739	▲8.7%	・新型コロナウイルスの影響による商業用、工業用のガス販売量の減少 ・工事・器具売上高の減少
	個別	43,148	47,490	▲4,342	▲9.1%	
営業利益	連結	794	590	+203	+34.5%	・原材料費の減少 ・経費全般の見直しによる削減
	個別	382	60	+321	+528.3%	
(営業外損益)	連結	159	572	▲413	▲72.1%	・前年同期は修繕引当金の戻入あり（連結）
	個別	213	287	▲74	▲25.8%	
経常利益	連結	954	1,163	▲209	▲18.0%	
	個別	596	348	+247	+71.0%	
(特別損益)	連結	0	0	0	—	
	個別	0	0	0	—	
四半期純利益	連結	681	975	▲294	▲30.2%	
	個別	445	277	+168	+60.5%	

※連結の「四半期純利益」は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を表す

2020年度 第2四半期決算 <売上高 内訳>

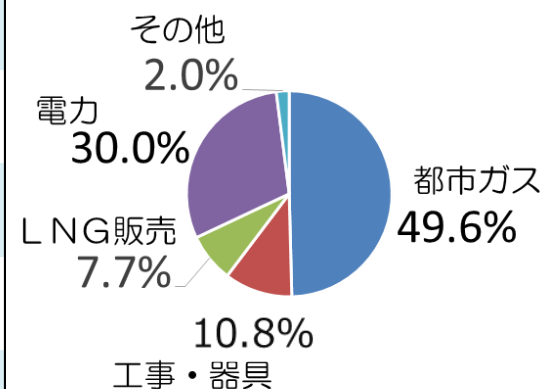
ほぼすべてのセグメントで減収。個別では、電力が売上高構成比30%に。

(単位：百万円)

個別

項目	当期	(構成比)	前年同期	(構成比)	差額	増減率
都市ガス	21,388	(49.6%)	23,529	(49.5%)	▲ 2,141	▲9.1%
工事・器具他	4,652	(10.8%)	5,919	(12.5%)	▲ 1,266	▲21.4%
LNG販売	3,310	(7.7%)	3,553	(7.5%)	▲ 242	▲6.8%
電力	12,923	(30.0%)	13,503	(28.4%)	▲ 580	▲4.3%
その他付帯事業 (LPG等)	872	(2.0%)	984	(2.1%)	▲ 112	▲11.4%
合計	43,148	(100%)	47,490	(100%)	▲ 4,343	▲9.1%

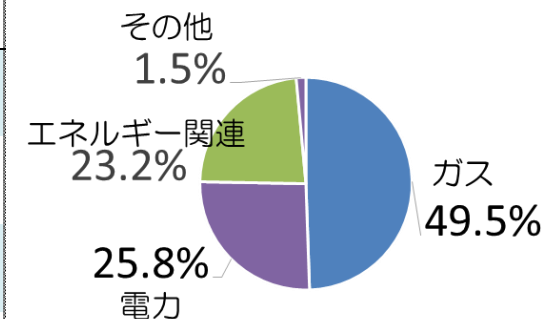
<構成比>



(単位：百万円)

連結

セグメント	当期	(構成比)	前年同期	(構成比)	差額	増減率
ガス (都市ガス、LNG販売)	24,623	(49.5%)	26,643	(48.9%)	▲ 2,020	▲7.6%
電力	12,864	(25.8%)	13,712	(25.1%)	▲ 847	▲6.2%
エネルギー関連 (工事・器具、LPG他)	11,562	(23.2%)	13,596	(24.9%)	▲ 2,034	▲15.0%
その他	737	(1.5%)	574	(1.1%)	163	+28.4%
合計	49,787	(100%)	54,526	(100%)	▲ 4,739	▲8.7%



連結財政状態・配当

季節的要因等による売掛債権減少等により総資産が減少。
利益剰余金の増加により自己資本比率はプラス0.7ポイント増。

(億円)

	当期	前期末	増減	主な理由
総資産	1,474	1,503	▲29	・ 季節的要因等による売掛債権の減少
負債	968	999	▲30	・ 有利子負債等の減少
純資産	505	504	+1	・ 利益剰余金の増加

	当期	前期末	増減	配当
有利子負債 (億円)	779	799	▲19	【年間】1株につき 50円 ・ 上期 25円、下期 25円
自己資本比率 (%)	32.9	32.2	+0.7	

2020年度 業績見通し

新型コロナウイルスや原油価格の動向など、引き続き注視が必要。
一方、ガス・電力の需要開発が計画通り、
かつ経営効率化を進めていることから、4月公表値の通り。

ガス販売量目標

5億8千万m³（対前年2.4%減）

電力目標

累計お客さま件数 20万件（対前年16.7%増）

北ガスグループ（連結）

売上高

1,110億円

経常利益

30億円

当期純利益

20億円

北海道ガス（個別）

売上高

960億円

経常利益

18億円

当期純利益

13億円

<設備投資（個別）>

2020年度（計画）

110億円

業績見通し変更なし

総合エネルギーサービス事業の展開

天然ガスと電気を組み合わせ、IoTの高度利用を通じて
効率的、かつコンパクトなエネルギーシステムを構築

ガスセントラル・
マイホーム発電
標準化

天然ガスの普及拡大

- ・ 高効率システムによる環境負荷低減
- ・ ガス導管の基盤整備

お客さま件数
18.3万件

「北ガスの電気」の拡大

- ・ 環境に優しい電源整備
（北ガス石狩発電所 増設：12月～稼働）
- ・ 分散型電源、再生可能エネルギーの活用

EMINEL

省エネサービスの展開

- ・ 北ガス版HEMS開発
- ・ 省エネアドバイス（web・うちエコ診断士）



地域連携

分散型エネルギー社会の形成

- ・ ガスマイホーム発電・業務用コージェネ・
地域再開発・地産地消型エネルギーモデル

エネルギーと環境の最適化による快適な社会の創造